

研究タイトル：

微生物を生体触媒として利用した物質変換



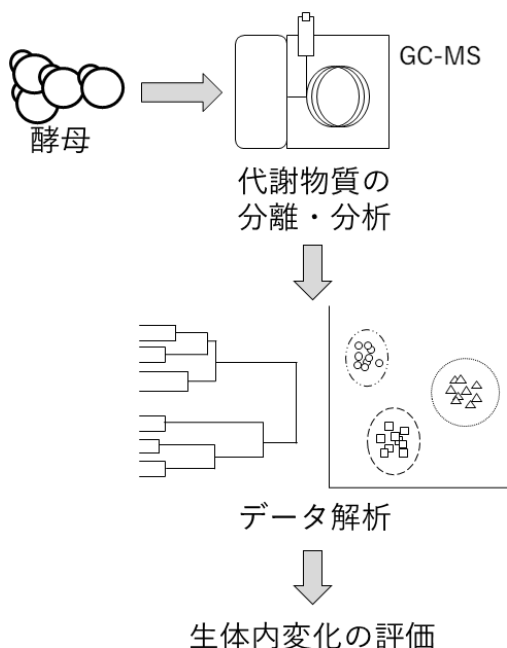
氏名：	越村 匡博／KOSHIMURA Masahiro	E-mail：	kosimura@sasebo.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(理学)
所属学会・協会：	日本化学会, 日本農芸化学会, 日本電磁波エネルギー応用学会		
キーワード：	ステロイド化合物, カビ, 微細藻類, 生体触媒, 放線菌, 香気分析		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の培養 ・天然有機化合物の分離、構造解析 ・環境中からの微生物の分離 ・腸内細菌代謝物質の分析 		

研究内容：微生物代謝物質の網羅的解析

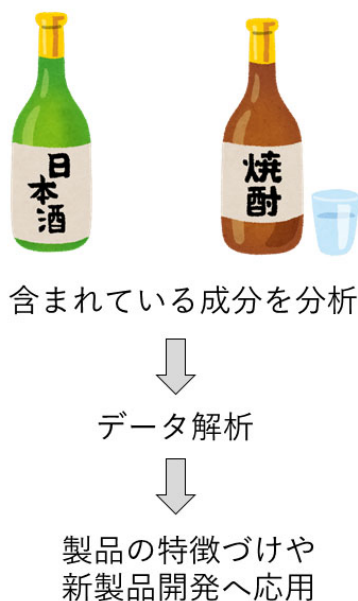
生命活動によって生じる代謝物質は遺伝子発現情報過程の最も下流の結果であり、生物学的表現型に近いために生命現象を直接反映しています。そのため、代謝物質を解析することで、生体内のメカニズムなどを明らかにすることができ、医療、創薬、食品などの幅広い分野で研究されています。

現在は酵母代謝物質を解析することで酵母の変異について評価する研究などに取り組んでいます。

【現在進行中の研究】



【応用例】



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	
高速液体クロマトグラフィー Prominence(島津)	多機能オートサンプラー付ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-QP2010 Ultra(島津)
キャピラリガスクロマトグラフ GC-2025(島津)	マイクロプレートリーダー FilterMax F5(モルキュラーデバイス)
核磁気共鳴装置 400 MHz ECXII 400(JEOL RESONANCE)	薄層クロマトグラフィー検出装置 MK-6s(LSI メディエンス)